

03

Manual Turning

旋盤



ものづくりの立役者、工作機械の代表選手!

代表的な工作機械として挙げられるのが、ものづくりの立役者である「旋盤」と「フライス盤」。品物や製品には、丸い物と角形の物が組み合わせられたものがたくさんありますが、丸い形状の物は旋盤によって作られ、角形の形状の物はフライス盤によって作られています。ものづくりは「段取り(準備)」から始まり、どのような順番でどのように加工するかを考えて、準備から完成までを何度もシミュレーションし、最高の製品を作り上げていくものです。

2019年大会 参加選手の状況

高等学校(工業系):	9人
高等学校(専攻科):	4人
都道府県職業能力開発施設:	14人
職業能力開発大学校:	4人
職業能力開発短期大学校:	3人
大学:	1人

※2020年大会はコロナ禍により中止

POINT

最大の見せ場は手際よく作業すること! 短時間での高精度の加工!

選手に与えられる素材は「炭素鋼」という鉄と炭素が合わさったものです。その硬い材料を削るものを「バイト」といいます。バイトは、ダイヤモンドと同じくらいの硬さのものもあります。競技課題として取り組む内容は、「外削り」「内削り」「テーパ削り(円すい状に加工)」「ねじ切り」「溝削り」「ローレット加工(表面をギザギザにさせる)」などがあり、いかに手際よく、高精度に加工するかが最大の見せ場です!

古賀 俊彦 主査
職業能力開発総合大学校

